

INFORMATION

- 2003.6.5 2003年度 総会・講演会・懇親会
- 2003.6.11 新旧役員・常任幹事歓迎会
- 2003.7.15 オイコスノモス(第7号)発行
第3回常任幹事会
- 2003.9.11 第4回常任幹事会
- 2003.9.23 第10回大学同窓会参加
- 2003.10.25 相模原キャンパスツアー
- 2003.11.13 第5回常任幹事会
- 2003.12.4 ホームページ開設
- 2004.1.20 幹事会・講演会
- 2004.2.15 オイコスノモス(第8号)発行
- 2004.3.11 第6回常任幹事会
- 2004.6.10 2004年度 総会・講演会・懇親会

AONサロン

「人間のもつ自発的・内発的な力の可能性」

経済学研究科博士後期課程2年 山元京子

私は今、大学の経済学研究科博士後期課程に所属しております。そこでは、発展途上国における貧困層の人たちに対して、彼らの生活水準を上げ、より人間らしい生活を営めるようにするには、従来のトップダウン式ではない、ボトムアップ式の援助手段が必要だと考え、NGOやNPOという仕組みを使って何が出来るかを研究しています。

毎年、フィリピンやインドなどにフィールドワークに赴いております。実際に自分がスラムに滞在して、貧しい人々と生活を共にし、様々な気持ちを共有することにより、多くの発見があります。例えば、彼らと共にスラムの開発を推し進める中で、次のことを学びました。人間は、新しい何かを作り上げていく中で、改めて自発的・内発的な意思決定を行う力学が必要となります。ゆえに、このような自発的・内発的なものからの「目覚め」「意識化」は、人間中心の参加型開発を検討する上で重要な意義をもつということです。そして、この「目覚め」「意識化」は、開発を行う際の手段としてだけでなく、本来人間が生きていく上での目標となるべくものでもあるということです。

世界の開発支援が行われている現状では、人間の発展を重視した開発を行なわなかった結果、実情に合わない開発という名の暴力の下に、貧しい人々をますます苦しめる状況に追い込んでいます。ゆえに、住民の生活上におけるベーシックニーズが反映され、人間生活の発展が促進されると共に、人間自身の「目覚め」「意識化」が重視されるような開発援助を率先して確立させる必要があります。そして、その人間が自ら選び取った生活を価値あるものと思えるような、生活における「本質的自由」の観点から、現地住民の参加に重きをおくNGO・NPOプロジェクトの開発プログラムが要求されているのです。



平成14年度収支報告書 自平成14年4月1日 至平成15年3月31日(単位:円)

収入の部		支出の部	
科目	決算額	科目	決算額
1.会費収入	3,386,000	1.事業費	56,942
2.その他収入	213,031	2.会報発行費	398,052
1)雑収入	213,000	3.印刷費	542,150
2)預金利息	31	4.通信費	246,174
		5.会議費	297,569
		6.事務費	39,339
		7.名簿管理費	105,420
		8.雑費	26,856
当期収入合計	3,599,031	当期支出合計	1,712,502
		当期収支差額	1,886,529
合計	3,599,031	合計	3,599,031
前期繰越金	6,817,546	次期繰越金	8,704,075

校友会と学部同窓会

天野知恒(S31)

本大学の卒業生は2003年3月で約16万人となっています。全員青山学院校友会の大学部に所属しています。一方各学部各学科にはすべて同窓会が任意加入として組織され、それぞれ独自の活動をしています。昨年秋に最後の学科(文学部史学科)にも同窓会が成立し、現在存続していない旧工学部、神学科を含め16の同窓会が存在します。昨年末これらの同窓会から選出された方々による「大学同窓会連絡協議会」が大学部の在り方について議論しております。現在、基本理念として確認されているのは「大学部会は各同窓会の連合体」であるということで、この理念に基いて具体的な検討が始まっております。次号ではより詳しい経過報告が出来る筈です。

編集後記

西尾隆司(S37)

経済学部同窓会も昨年の年度末で二期四年が経過し、主だった方々は設立準備の段階を含めると五年近くご尽力下さいました。昨年の総会に於て役員の方々の顔ぶれも一新され、森啓新会長以下大いに若返りました。勿論若ければ良いというものではありませんし、榎本前会長は校友会の会長として更にご活躍、その他の退かれた方々も何らかの形でバックアップして下さいます。ところで皆様お気付きになりましたでしょうか、表題のデザイン・レイアウト等が若干変わりました。さて、このオイコスノモスの編集委員も飯村肇新委員長以下新スタッフになり、若返ったかどうかは？”ではありますが、一同心は若く、頭は柔らかく、無い知恵も絞って良い紙面作りを目指しております。皆様も活発にご意見・ご寄稿を下さり、会員増強にもお力添え下さって大いに後押しして下さい。よろしくお願い致します。編集委員：飯村肇(S35)西尾隆司(S37)清水美子(S39)石井信之(S41)梅田澄子(S48)磯部守孝(S53)中根紀弘(H4)佐藤剛(H5)富田直(H5)

青山学院大学経済学部同窓会会報 第8号
2004年2月15日発行
発行者 森 啓
発行所 青山学院大学経済学部同窓会
(青山学院大学経済学部・石井信之研究室内)
〒150-8366東京都渋谷区渋谷4-4-25 Tel.03-3409-8111(内線12817)
<aogaku-kei.dosokai@jcom.home.ne.jp>
<www.econ.aoyama.ac.jp/dousokai/toppage/index.html>
皆様からの情報やご投稿は下記私書箱へ！
〒150-8691渋谷郵便局 私書箱145号

AOYAMA OIKOS NOMOS

青山学院大学経済学部同窓会会報

2004.2.15 アオヤマオイクスノモス 第8号

若手役員大いに語る 「経済学部同窓会への提案」 2004.1.9 於：青学会館

出席者 / 副会長 梅田澄子(S48) 事務局長 磯部守孝(S53) 幹事長 富田直(H5) 副幹事長 佐藤剛(H5)

(司会)富田：これからの経済学部同窓会活動の活性化に具体的なアイデアはどのようなものがあるのでしょうか。

佐藤：私は、経済学部同窓会の存在を学生に示す広報活動の意味も含めて、学生に奨学金を出すのはどうかと思っているのですが…。

磯部：どんな奨学金で、どんな選考方法を考えているのですか。

佐藤：選考は、面接と「同窓会に対する」小論文による審査を通じて、一人6万円、対象は3・4年生で一学年2名でどうかと考えています。

梅田：それによっては在学生のうちから、同窓会の存在を認識してもらえるのなら、意味はありますね。

佐藤：どの同窓会もまだ着手していない現在、一番最初にやる事に大変意義があると思うのですが。

富田：学生も注目するような企画として提案していきましょ。では、他に何かありますか。

磯部：講演会を企画する時に、今までよりさらに幅を持たせてはどうでしょうか。学生が就職したい会社の方に実業界の話をお願いしたりして就職に対するヒントを得る機会を作ってみたりとか。又は、先輩の方々の体験談、例えば、失敗談や乗り越えた経験等の何かアドバイスとなるような話を頂くようにしては、と思います。

梅田：そうですね。経済学部同窓会が情報の発信基地になるようなホットな企画を沢山提供していけるといいですね。

磯部：大学の先生方による講演も今まで以上に協力して頂いて、聴講生になった気分を味わえたらいいと思うのですが。

佐藤：その場合、「セミナー」形式もいいですね。5回連続講座で、20名位の規模、実生活に役立つもの、例えば「ホームページを作ろう」等はどうでしょうか。

富田：いいですね。経済学部同窓会らしさを発揮できる企画を次々と提案していきましょ。では、次のアイデアをお願いします。

梅田：私は、同窓会に参加している方々に、メンバーズカードを発行するのはどうかと考えています。卒業しても「青山学院」につながりたい、という意識は同窓会へ参加するスタートだと思います。学院へのノスタルジアとかだけでなく、学院に在校時とは違った形で、同窓会に今参加しているという認識が大事だと思います。それをカードを持つという事で表現できたらと思うのですが…。



磯部：終身会費を納めて頂いて 左より佐藤、梅田、富田、磯部 いる先輩方には敬意を表して、ビニールコーティングをして差し上げたいですね。

梅田：このカードを持っている事にステイタスを感じるような会にしていく事が大事だと思いますが…。そして近い将来、同窓会活動に参加して良かったな、と思えるような何か付加価値を付けたいですね。

富田：新たな発展につながる提案が沢山できました。最後に司会の私からも提案をさせて下さい。佐藤さんが中心になって立ち上げたホームページの事です。このシステムを使ってより充実した同窓会にしたいと考えています。ホームページは、会員とのコミュニケーションの場であるだけでなく、同窓会の活動がオープンになるところでもあります。私達の活動を報告して、広く存在を知らせる為に活用していきたいと考えています。

佐藤：大学の経済学部のホームページにリンクさせて頂いているので、いろいろな方面からのアクセスが期待できると思います。全国各地から参加して頂けるので、ホームページ上での企画も大事に育てていきたいですね。

磯部：一つのアイデアとして卒業生情報。例えば、近況とかクラス会も取り上げるコーナーを作るというのはどうですか。

梅田：そうですね、それもいいですね。皆さんが同窓会活動に参加したくなるような楽しいHPにしていきたいましょ

富田：限られたスペースに掲載するので、十分にお話し頂けたとは思いますが、とても内容のある座談会になったと思います。ありがとうございました。

ご挨拶 経済学部同窓会会長 森 啓



経済学部同窓会は5年程前に発足いたしました。大学に経済学部が開設されてから50年、やっと念願の同窓会が出来たことになりました。

今回私が初代榎本会長の後任としてお役目を引き継ぐことになりました。私は昭和33年(1958)経済学部経済学科を卒業して以来母校にあまりご縁がありませんでしたが、3年前から先輩のご依頼で常任幹事をさせて頂いたのが同窓会参加へのきっかけとなりました。

私の卒業当時は国をあげての石油化学産業はなやかな時で国策会社である日本合成ゴム

(現JSR)に第一期生として入社いたしました。そこで最先端技術のコンピュータを担当し長期にわたり米国での勉強をいたしました。この関係で当時の兼松江商(株)での電子産業への取り組みの企画に参画することになり、昭和48年(1972)に転職いたしました。爾来米国を初めとする各国のIT産業ビジネスに携わってまいりましたが、特に昭和58年(1982)からの足掛け十年にわたるニューヨーク、ボストンでの現地社長の体験は、各国学識経験者の方々に会う機会に恵まれ私自身の人格形成のベースとなりました。

はなはだ微力ではありますが当会を通じまして母校への貢献、お互いの研鑽、親睦にお役に立ちたいと考えております。

どうか当会を発展させようという熱意のある皆様方のご支援を御願い申し上げます。

「懐かしの西部劇映画 ウェスタン・スター・ア・ラ・カルト」公開講座要約

石井信之(S41) 経済学部教授



アメリカの文化遺産ともいえる西部劇映画は、第二次世界大戦後の日本でも1946～1960年頃には大変な人気で、いつも映画館は男性ファンを中心ににぎわっていたものである。現在、本国のアメリカでもほとんどつくられていない状態であるが(2003年度の新作としては、ケビン・コスナー監督・主演のOpen Rangeがあり、輸入サントラ盤(Michael Kamen(1948～2003)の遺作)が「すみや渋谷店」に入荷予定となっている)その成立・繁栄・衰退を辿っていくことには単なる回顧(ノスタルジー)に終わらない意義が見出されると思われる。代表的な西部劇映画スターであるジョン・ウェイン、ゲイリー・クーパー、ヘンリー・フォンダ、ジェームズ・ステュワート、グレゴリー・ペックなどが各々の活躍時期において演じたヒーロー像の変遷を詳しく分析していくと、アメリカ合衆国における歴史の実像と神話の形成の複雑な関係がうかがいあがってくるだろう。この視点は、西部劇映画監督として代表的なジョン・フォードとサム・ペキンパーの作品の変遷を比較検討しても興味深い論点を提供するであろう。もしも、もう一度、お話しする機会を与えて下さるならば、是非ともこのような少し硬いテーマも扱ってみたいと思っております。

2003年 大学同窓祭・公開講座について

飯村 肇(S35)

9月23日(祭)に第10回大学同窓祭が青山キャンパスで盛大に開催された。当日は、各種催しにOB・OGが多数参加し、母校での楽しい一日を過ごした。

経済学部同窓会は、その催しの中の公開講座に初めての試みとして「同窓会」として参加した。通常は、公開講座を担当する先生のゼミのOB会を中心に出席者の勧誘が行われているが、川野繁実行委員長の発案で経済学部同窓会によるバックアップの元に講演者の選定が行われた。その呼びかけに、副会長の石井信之先生が快諾、今回実現の運びとなった。

当日は西部劇に関する石井先生の豊富な知識と、流石と思わせる大学教授ならではの分析が聴衆を唸らせた。続きを望む声が多く、同窓会としても検討している。

次に、参加した方々の感想を紹介いたします。

感想

辻尾 裕(S29)

偉い人は時々とんでもない隠れた才能や趣味をお持ちで驚くことがありますが、石井教授はまさにその典型。ここでヘンリー・フォンダがこうやって階段を下りて来まして、拳銃をこうやって取り出しまして、なんてカッコ良かった。来年もぜひ続編をお願いします。

福井金造(S31)

私は、聴講して居て学生時代に戻り授業を受けて居る思いでした。又、私も西部劇映画が好きで学生・青春時代に総べて(1970頃まで)観た映画だったので感銘を受けました。先生の映画に対する博識・資料(ポスターも含み)の素晴らしい事に頭が下がります。今回は、他のジャンルの講座をお願い致します。

梅田澄子(S48)

映画になった時、それは史実とは離れ神話となって人々の記憶の中に残るという話に、西部劇の見方が変わりました。興味深い展開に、自分が司会者であることを忘れて聞き入ってしまいました。また、配布された資料も素晴らしく、永久保存に値します。第2弾を望みます。



ホームページ×会員×経済学部 = (無限大)

佐藤 剛(H5)

昨年末、かねてよりの念願でありましたホームページが開設されました。これにより、総会や幹事会などの行事に参加できない全国の会員の皆様にも、同窓会の活動について知っていただく場が増えたこととなります。この機会に少しでも同窓会のホームページについてアピールをさせていただきたいと思っております。

開設にあたり念頭に置いたことは、会費を納入されている会員の皆様に対し、きちんと説明責任を果たす、ということでした。総会での報告事項、常任幹事会の議事録などの掲載により、実際に行った活動内容の報告や検証、今後の同窓会の方向性や取り組み等、多くの情報を皆様にご提供することが可能です。透明性の高い、なおかつ開かれた同窓会を目指したいと考えております。

次に「入会フォーム」や「問合せ」などでより迅速な事務手続きをとることが可能になりました。事務所を持たない経済学部同窓会ですが、通信事情などさまざまな影響で皆様にご迷惑をかけることがあってはなりません。もちろんハガキや電話なども従来通り対応しております。このように選択肢が増えたことで相互に利便性が向上したと思われまます。

そして、この公開によって、多くの方々に経済学部同窓会の存在、実際の活動について知っていただく機会が増えました。ぜひ皆様にもクラスメイトや経済学部同窓生をはじめとした多くの方々にこのホームページの存在を知らせていただきたく存じます。そして、経済学部について語っていただくひとつのきっかけになればと願っております。

同窓会はこれからもホームページの充実に力を入れていきます。そのためには皆様方のご協力は不可欠でございます。多くのご意見、ご要望、情報を送っていただきたいと思います。そして、会員、経済学部と共に成長していくホームページを目指したいと思っております。

経済学部同窓会ホームページアドレス
http://www.econ.aoyama.ac.jp/dousoukai/toppage/index.html

キャンパスツアーに参加して

清水美子(S39)

10月25日(土)経済学部同窓会主催の相模原キャンパスツアーが行われた。薄曇りの横浜線淵野辺駅に近づくグリーン色の芝生の中、クリーム色の建物・とんがり帽子のチャペルが車窓に現れた。これがまさしく青山学院大学相模原キャンパス。厚木キャンパスから移設した素晴らしいステンドグラスを通してその光にパイプオルガンの音が賑やかな雰囲気を出す。このチャペルを中心に全学部が配置されており、学生がスチューデント・センターに行けば学生課・就職課まで全て用が足りようになっている。IT化が東洋一という、ゆったりとした校舎。また図書館は青山学院とICU、早大、明大にしかないというコンピュータ制御で地下に収納した書籍類を取り出せる自動書庫を備えている。折しも隣接したグラウンドでは東都大学秋期リーグ戦で優勝した野球部の選手、河原井監督そして野球部長の本郷先生(S47)にお祝いを述べるチャンスにも恵まれた。お昼は素敵な学生食堂で食事をとり、有意義かつ楽しい一日を過ごした。

大学職員の方々の適切かつ御親切なガイドに御礼申し上げる次第です。



チャペル前にて

「大学同窓祭の報告」

中根紀弘(H4)



大学同窓祭も今回で早くも10回目を迎えましたが、その記念すべき第10回の同窓祭の実行委員長に経済学部同窓会の前副会長の川野繁氏(S53)が就任され、特に今回の目玉は「抽選で自動車当てる!」というスケールの大きな企画が目玉されました。当日はお天気にも恵まれて来場者も多く、ガウチャ・メモリアルホールでは、神崎愛さんと大学の管弦楽団との素晴らしい共演で立ち見も出るほどの大人気でした。他にも堀場経済学部長(S48)もパネリストとして出席されたフォーラム2003や、林真理子さんの講演会等盛りだくさんの企画も、最後は華やかな打ち上げ花火とともに大盛況のうちに幕を閉じました。

「小峰あずさ」さんのコンサートに行ってみました!

磯部守孝(S53)

「小峰あずさ」さん(本名:梅澤みのり、H4)は本学卒業後、山一證券に就職された後に歌手になられたという歌謡界でも珍しい学士の歌手でいらっしゃいます。今回デビュー8周年のコンサートに常任幹事の船津昭夫さん(S32)のお誘いを受けて行って参りました。初めての演歌のコンサートはどんな感じなのかと少しドキドキしておりましたが、2000名以上収容の五反田ゆうぽうとホールはほぼ満員、全国から駆けつけたファンの熱い興奮に包まれておりました。元NHKの金子辰雄アナウンサーの名司会も手伝って、2時間近くのコンサートは29曲の熱唱で最後まで熱く盛り上がりました。特に持ち歌以外の「天城越え」や「川の流れるように」を聞いて、彼女の歌唱力に改めて驚かされると共に、その美貌と石川さゆりを凌ぐ歌の上手さにすっかりファンになってしまいました。近い将来、大晦日の紅白で彼女を見る事が出来ること間違いナシです!



新会員のお知らせ

(卒年)	(氏名)	(卒年)	(氏名)
S28	川辺 昂	S33	脇山 薫
S28	関 琢磨	S33	渡邊 芳昭
S28	高木 達男	S35	松野 正剛
S28	武笠 昭徳	S36	鎌田 孝
S29	秋山 貞雄	S45	内田 敬一郎
S29	阿久津 馨	S46	松尾 寿
S29	寛 直子	S47	村田 永男
S29	粕谷 忠雄	S51	谷川 尚子
S29	加藤 道夫	S51	西澤 修
S29	草野 順夫	S54	川井 啓司
S29	河野 滋郎	S55	下山 俊朗
S29	下澤 修	H15	明吉 伸幸
S29	辻尾 裕	H15	鎌田 恵治
S29	牧野 傳一郎	H15	河合 哲二
S29	峰岸 健二	H15	近藤 尚志
S29	村山 俊男	H15	関戸 陽
S29	山守 元造	H15	竹内 登美
S29	吉田 雅哉	H15	田代 京子
S33	大手 寛	H15	長瀬 恵美子
S33	大矢 正臣	H15	中林 徹
S33	岡田 公一	H15	羽生 勇氣
S33	栗原 宣之	H15	藤川 孔明
S33	設楽 修三	H15	藤田 義雄
S33	那須 崇	H15	本間 洋行
S33	浜田 寛	H15	松岡 優
S33	平井 道男	H15	吉田 紀明
S33	政岡 保之		

年次総会開催予告

2004年6月10日(木)18時より「アイビーホール青学会館」に於いて開催いたします。恒例の講演会・懇親会も企画しておりますので、お誘い合わせの上是非お越し下さい。